

「ものこと双発」“ものづくり” 主体の産業構造を “もの・ことづくり”へと発展させるビジネスデザイン

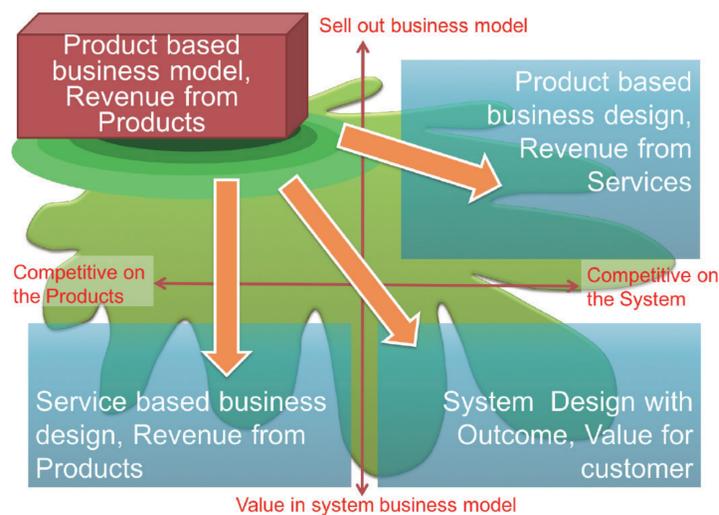
The new Concept of “Dual-Engine” by Things and Systems’ :
Business Design to the Manufacturing Companies.



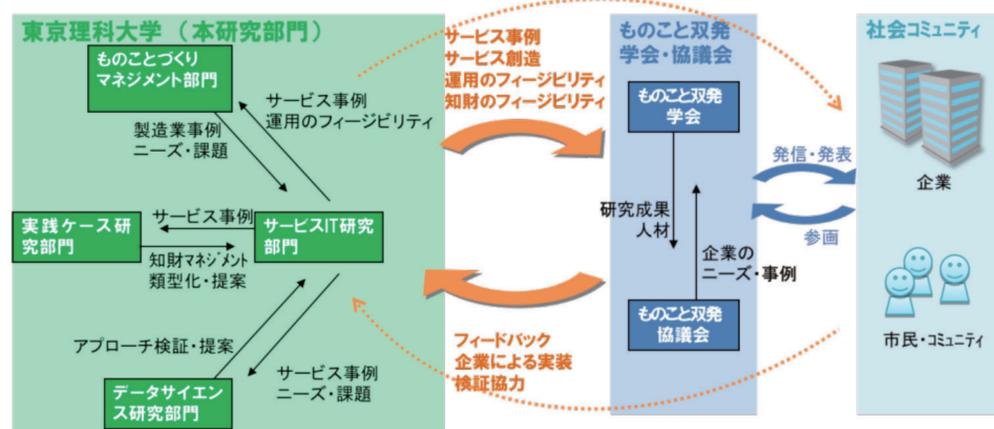
研究概要

“ものづくり”主体の産業構造から“もの・ことづくり”へと変革発展させるあり方を製造・サービス・ITの観点から調査・研究し、広く社会に啓蒙して新しいビジネスデザインを提案することを研究目的としています。

研究領域



研究体制



【企業経営層調査：ことづくりの認識】

各社共通認識は「顧客視点で(もの単体でなく)総合的に価値提案する仕組みと、そのための継続的なビジネスの仕組み」

【企業経営層調査：ことづくりの課題】

“ことづくり”のための人材組織、R&D、他社協調、などが主要課題

「ものこと双発」“ものづくり”主体の産業構造を“もの・ことづくり”へと発展させるビジネスデザイン」 東京理科大学大学院 イノベーション研究科 教授 田中 芳夫

TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE University Research Administration Center



東京理科大学 研究戦略・産学連携センター

<http://www.tus.ac.jp/ura/>

田中 芳夫 教授

Yoshio TANAKA

Professor



現状

- これまでの事例研究は、
製造業視点のものが中心となっており
“ことづくり”に視座をおいた実践的な研究事例は
ほとんど見られなかった



新技術

- **産業界にとって、
「新たな競争力を獲得する仕組みづくり」
について、製造、サービス、ICTの観点から
調査・研究を行い、広く社会に啓蒙し
提案していく必要がある。**



今後

研究スケジュール

- 2015年度:
アンケートによる社会認識の定量定性評価
ものことづくりビジネスリサーチ、ものことづくり人材・組織
- 2016年度:
「こと」の概念と実践的な定義

「ものこと双発」 “ものづくり” 主体の産業構造を “もの・ことづくり” へと発展させるビジネスデザイン | 東京理科大学大学院 イノベーション研究科 教授 田中 芳夫